

(様式4)

(文書番号) シ21発第ア1号  
平成21年4月20日

外務省大臣官房会計課長  
水鳥 真美 殿

社団法人シャンティ国際ボランティア会  
会長 若林 恭英

日本NGO連携無償資金協力  
事業完了報告書

平成20年1月30日付日本NGO連携無償資金協力贈与契約に基づく「アフガニスタン・イスラム共和国で実施するナンガルハール県における学習用机・椅子配備事業」が、平成21年2月28日をもって完了いたしましたので、関係書類を添え、下記のとおり報告いたします。

記

1. 事業の実施期間： 平成20年3月1日 ～ 平成21年2月28日

2. 事業の実施成果（要約）：

未だ戦後復興の過渡期であるアフガニスタン東部ナンガルハール県において、近年パキスタンからの帰還難民の流入も安定してきており、緊急的な学校環境の整備が、都市部と地方部との学校環境の格差拡大を防ぐためにも、また就学児童数を維持するためにも必要である。本事業では地方に存在する小学校15校に対して机と椅子1936セットと日本からの図書を配布した。中間報告時には資材の高騰から机と椅子のセット数を1850に設定したが、その後の物価変動により、当初予定していた1936セットを対象校に配備することができた。

3. 日本NGO連携無償資金精算額： 15,173,634円  
または（契約額（供与限度額）より2,217,647円の減）

## 日本 NGO 連携無償資金協力 事業完了報告書

### (1) 事業名称(案件名)

アフガニスタン国ナンガルハール県における家具及び図書配布事業

Distribution of Furniture and Books For Primary school Project in Nangarhar Province,  
Afghanistan

### (2) 事業サイト

アフガニスタン国ナンガルハール県タキアガレイ郡(県都ジャララバードより東方へ約35Km、車輻で約45分)、ラル・プール郡(県都ジャララバードより東方へ約70Km、車輻で約1時間30分)、ゴシュタ郡(県都ジャララバードより北東へ約43Km、車輻で約1時間30分)、パティコット郡(県都ジャララバードより南東へ約40Km、車輻で約50分)、コット郡(県都ジャララバードより南東約45Km、車輻で約1時間20分)、ダライヌール郡(県都ジャララバードより北方30Km、車輻で約1時間)、シェワ郡(県都ジャララバードより北方へ30Km、車輻で約35分)

### (3) 事業概要

アフガニスタン国東部ナンガルハール県においては、2003年頃から最近まで帰還難民の流入が激しく、児童数が不明確であったため、弊会により建設した各学校での必要な机・椅子の数が把握できなかったことに加え、机・椅子からあぶれてしまった児童は授業を受けることができない等の問題があったため、カーペットを敷きその上に座って授業を受けるといった処置を取っていた。

いまだ戦後復興の過渡期ではあるが、近年パキスタンからの帰還難民の流入も比較的安定しつつある。そういった中で、各地方においても緊急的な学校環境の整備として、児童達への机・椅子などの家具を充実させ、より良い学習環境を整えることが就学児童数を維持するために必要である。また、都市部と地方との学校環境の格差が顕著であり、格差拡大を防ぐことも緊急的な課題である。

以上のことから、本事業では弊会にて過去に建設した小学校11校(内4校に関しては、校舎が2棟あるため、総数15校)に対して、机と椅子のセット1936数及び日本から送られた図書を配布する。設置する家具に関しては、多少の児童数の流動性も考慮し、3~5名が使用可能な長机・長椅子をデザインしたものとする。

### (4) 受益者

アフガニスタン国ナンガルハール県内 配布対象11校の総生徒数14,389人(男子生徒7,410人、女子生徒6,979人)、総教員数286人

平成19年度日本 NGO 連携無償資金協力事業完了報告書  
 社団法人シャンティ国際ボランティア会 (SVA) アフガニスタン事務所

(5) 活動報告

ナンガルハール県教育局の許可を受け、2008年4月14日に事業を開始した。机・椅子のデザインに関しては、教育局、教員の意見も取り入れたものとした。木製にすることで教員や住民たちが修復など、維持・管理ができるように配慮した。治安の悪化が懸念されたが、配布に関しては、地域住民や現地教育局、経済局の協力もあり問題なく完了することができた。また、一部の地域においては、トラックが学校の敷地まで乗り入れることができないという課題があったが、地域住民の協力で人力で配布を行った。

中間報告時には、物価高騰の影響により、当初見積もり4500パキスタンルピーであった配布予定家具の値段が購入時には4750パキスタンルピーとなったため、急遽配布数を1936から1850に変更して対応した。しかしその後、世界的な経済状況の変化から急激な為替変動が進み、申請額との差異が発生した。そのため、追加で86セットの家具の発注を行い、結果として当初予定していた1936セットの家具の購入・配布を行った。各学校への家具の配布数は下記表の通り。

また、図書に関しては、アフガニスタンの公用語であるパシュトゥン語の訳文を日本の絵本に貼り付けたものを送った。総計で633冊の絵本を現地に送り、弊会において、教員を対象とした図書館活動に関するワークショップを行い、図書活動への理解・教授法を深めた後、各学校へ配布した。

No	学校名	教員数	男子 生徒数	女子 生徒数	配布 家具数
1	タキア・ガレイ小学校 (Takiagary 1/2)	28	559	323	145
2	チャオキノール小学校 (Chawinawar 1/2)	24	631	467	190
3	アハマディ小学校(Ahamady)	15	429	248	145
4	チャルディヒ小学校(Charidihi 1/2)	36	1976	270	302
5	グル・ダック小学校(Gul dak)	14	569	319	145
6	ザルパチャ小学校(Zarbacha)	14	418	232	159
7	アムラ小学校(Amla)	19	897	638	140
8	ドダラク小学校(Dodark)	9	127	73	133
9	サイド・ジャマルディン小学校 (Said Jamaludin 1/2)	57	1804	1600	290
10	コット小学校(Kot)	43		1600	167
11	カラタック小学校(Qalatak)	27		1209	120
<b>合計</b>		<b>286</b>	<b>7410</b>	<b>6979</b>	<b>1936</b>

(6) 活動評価

【妥当性】

2006年12月に発表されたアフガニスタン教育政策案によると、今後5ヶ年の間に73000教室という具体的な目標を掲げ、学校教育におけるインフラ整備を重点項目として挙げている。また、2004年度に発表されたナンガルハール県での就学児童数は約60%を達成しているが、そのほとんどが都市部に集中しているといわれている。

## 平成19年度日本NGO連携無償資金協力事業完了報告書 社団法人シャンティ国際ボランティア会(SVA)アフガニスタン事務所

上記のことから、地方の学校へのインフラ整備や教育環境の整備が緊急的な課題とされている。本事業においては地方の学校への教育環境の整備という点でアフガニスタン国の教育政策案やナンガルハール県における都市部と地方との教育環境の格差問題解消というニーズに合致したものであり、妥当性が高いといえる。

### 【有効性】

家具の配布を受けた学校では、今まで床に座って授業を受けていた児童達の学習環境が改善されたことにより、授業に出席する生徒数が増加し、欠席者数が減少したとの報告がある。生徒数の増加に関しては難民の帰還や国内避難民の定住政策が進んだことといった外部要因が大きく影響しており、要因の一つとして挙げることはできるが、本事業により達成されたものとしては言い難い。ただし、欠席者数の減少に関しては児童達のモチベーションに対して本事業の効果があったといえる。

### 【効率性】

本事業の机・椅子の購入計画に関して、世界的な経済危機に関連した資材の高騰や急激な為替変動等に翻弄されたが、最終的な購入に関しては影響がなかった。こうした事項は極めてまれな外部要因であり、あらかじめ予測して予算立てすることは難しい。

また、各学校への家具の配布数に関して、児童数が常に流動的なため、全ての児童へ机・椅子を配布することは難しく、今後モニタリングを通して事業後の状況を観察し、追加支援の必要性を検討していくことが必要である。

### 【イパ<sup>o</sup>外】

本事業のイパ<sup>o</sup>外としては、机と椅子が整備され、学校環境が改善されたことにより、子ども達の学校に対する意識が向上したことが挙げられる。また、それと共に子ども達の両親にとっても学校に対する意識の改善が見られ、進んで自分の子どもを学校に送り出すようになったことが報告されている。

### 【自立発展性】

本事業支援対象校においては、全て公立校として教育省に登録されているものであり、運営・管理責任は教育省及び地域教育局が管理していく。しかし、現実的には校舎の維持・管理に関する予算が十分に確保されていないため、維持管理の全てを教育省、教育局で担うのは難しく、実質的には地域住民を中心としたコミュニティーレベルにて管理が行われている。

各学校に関しては、校舎建設前から地域住民との協議を行い、建設後もその維持・管理に関するワークショップを行ったため、地域住民も自分たちの学校という意識が高く、維持管理に積極的である。また、本事業で配布した机・椅子のセットは木製のものであるため、多少の修繕に関しては地域住民のみで行えることから自立発展性は高いといえる。

平成19年度日本 NGO 連携無償資金協力事業完了報告書  
社団法人シャンティ国際ボランティア会 (SVA) アフガニスタン事務所

【まとめ】

本年においては、治安の悪化が顕著になったと共に世界的な経済危機による物価の高騰により、アフガニスタンに住む人々の生活が逼迫した。2001年のタリバン政権崩壊から8年が立つ中、都市部に支援が集中している現状、地方に住む人々にとっては、いまだ復興の実感を得ることが難しい。

そうした中で、教育の改善は子ども達の今と将来を支援することであり、ひいては国の将来につながるものである。地方における支援のニーズが今後も増え続ける中、微力ながらも本事業のような地域レベルでの支援が持続され、他地域にも波及していくことが必要であり、都市部との格差拡大を防ぐ手段の一つであるといえる。

(7) 特記事項

本事業期間中においては、大幅な為替変動があり、事業形成時に  $1\$ = 58 \sim 60$  パキスタンルピーであったものが、事業中間から終了時にかけて  $1\$ = 78 \sim 85$  パキスタンルピーへと推移したことを補記する。

平成19年度日本 NGO 連携無償資金協力事業完了報告書  
社団法人シャンティ国際ボランティア会 (SVA) アフガニスタン事務所

【受益者の声】

名前 アジムジャン (Azim Jam) サイド・ジャマルディン小学校教員

日本の人々の支援に感謝致します。教室に机と椅子が設置されたことによって、今までと比べて、生徒達も快適に授業を受けることができるようになり、登校してくる生徒の数も増えました。私達はいまだ困難な状況下にはいますが、問題を解決できるよう頑張っていますので、日本の皆さんも私達のことを忘れないで下さい。



名前 タンジヌッラー (Tanzinullah) アムラ小学校5年生(女子 11歳)

学校に机と椅子が置かれたので、とてもうれしいです。これからも日本の人々が私たちアフガニスタンのことに関して協力関係を続けて下さることを願っています。将来は教師になって、子ども達を教えていきたいです。



平成19年度日本 NGO 連携無償資金協力事業完了報告書  
社団法人シャンティ国際ボランティア会 (SVA) アフガニスタン事務所

名前 アミナ (Amina) カラタック小学校 6年生(女子 12歳)

快適な環境で勉強することができるようになって、とてもうれしいです。今まで学校に来なかった友達も来るようになりました。日本の皆さんにはとても感謝しております。これからも私たちアフガニスタンに住む子ども達のことを忘れないでください。私は将来医者になって、困っている人を助けたいと思います。



名前 ノールアガ (Nooragha) サイド・ジャマルディン小学校 4年生(男子 12歳)

前までは床に座って授業を受けていたけれど、今は椅子に座って、机の前で勉強することができるので、集中して先生の話聞くことができます。ご支援いただいた日本の皆さんにはとても感謝しています。これからも私達のことを忘れないでください。僕は将来エンジニアになって、国の復興のために働きたいと思います。



## ナンガルハール県における学習用机・椅子配備事業



配布する学習用机と椅子の作成の様子。一つ一つ手作りで作成したものを順次配布致しました。



積み上げられた机・椅子のセットの山。



配布する机と椅子のセット。

## ナンガルハール県における学習用机・椅子配備事業



トラックに机と椅子のセットを積み、対象校に運び入れている様子。  
一回では全て運べないため、複数回に分けて持って行きます(写真はサイド・ジャマルディン小学校)。



対象校の教員や児童達も協力して机と椅子のセットの積み下ろし、設置作業を手伝ってくれました  
(写真はグルダック小学校)。

## ナンガルハール県における学習用机・椅子配備事業



設置の様子。皆総出で運び、各教室に設置していきます。今まで床にカーペットを敷いて授業を受けていた教室に机と椅子が揃えられていきます。



## ナンガルハール県における学習用机・椅子配備事業



学習用机・椅子配布前の授業の様子。カーペットを引いていても長時間座り続ける授業は大変です(写真はカラタック小学校)。



机・椅子の配備後は、今まで床に座って授業を受けていた女子生徒たちも椅子に座り、机の上でノートを取ることができるようになり、より集中して授業を受けることができました。



## ナンガルハール県における学習用机・椅子配備事業



机と椅子が教室に配備されたことで、学習環境も改善し、学び舎としての学校の機能が向上しました。椅子に座って机の前で勉強するという学校では当たり前な光景が広がっています。



(写真上、右:コット女子小学校の様子)。



(写真上、左:サイド・ジャマルディン男子小学校の様子)。